

平成22年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	プール運営事業				開始年度	平成16年度	
基本目標	予防医療体制の整備				終了年度		
担当課(局)	健康福祉課	担当係	健康推進係	記入者	鳥取 真弓	評価者	井上 敏郎
21年度決算	29,896	千円	22年度予算	32,921	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
21年度人件費	2,113	千円	22年度人件費	2,748	千円	事業従事者数	0.29 人 0.38 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	プール利用により心身の健康づくりに役立てるとともに、1年を通じて集客体制を整え収益増を目指す
事業の内容	プールの利用を呼びかけ、引き続き大人・子どもの水泳教室等の各種教室を開催する。 水中運動普及員への研修を実施し、委託先と普及員との連携を図り、新規の利用者を増やし継続利用へとつなげる。

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	1 利用者数	委託先及び水中運動普及員が連携しプールのPRを行い、利用者が増加する。
	2 プール利用料	利用者が増えることで、利用料の増収につながる。
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	1 委託先との打ち合わせ	定期的に委託先との打ち合わせを実施。
	2 水中運動普及員研修	水中運動普及員への研修会を開催。
	3	

◎達成状況

指標名		単位	20年度	21年度	22年度	
成果指標	利用者数	目標値	人	21,770	22,700	25,000
		実績値		22,273	24,475	
		達成率	%	102.3%	107.8%	
	プール利用料	目標値	円	5,315,000	5,700,000	6,219,000
		実績値		5,959,500	6,174,200	
		達成率	%	112.1%	108.3%	
0	目標値					
実績値						
達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!			
活動指標	委託先との打ち合わせ	目標値	回		5	5
		実績値			5	
		達成率	%	#DIV/0!	100.0%	
	水中運動普及員研修	目標値	回			8
		実績値			7	
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
0	目標値					
実績値						
達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!			

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	平成20年度から、医療保険者による特定健診・保健指導が導入され、生活習慣病に対する積極的な予防の必要性が叫ばれるなか、健康に及ぼす影響を町が直接評価していくことができる。 また、町内に健康づくりの施設が少なく、民間も採算を考えると参入しにくい分野のため町が実施することが妥当である。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	プールを継続的に利用することによって、健康状態が改善されるとともに、アンケート(H22. 2月～3月実施)より、心の健康づくりにも役立っていることが推察される。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	委託先との打ち合わせ、広報、教室の開催、水中運動普及員の活動等により、利用者の増加と楽しいプール利用につながると考える。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	水中運動普及員への研修を実施し、普及活動をしていくことで、その効果を伝え、継続的なプール利用へとつながっていくと考える。

事務事業名	プール運営事業	担当課(局)	健康福祉課
-------	---------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	プール運営は指定管理者制度の導入と合わせて検討すべき早急な課題である。ただし、収益性を追求する民間事業者と健康づくりのためのセンターとして位置づけている町との考え方の相違、センターの一部に行政が入居する場合の経費の按分等、解決すべき大きな課題がある。	今後の方向性					
			事業の方向性	拡充			○	
				現状維持				
				縮小				
				廃止				
		廃止	縮小	現状維持	拡充			
コスト								

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	◎事業運営等は、指定管理者制度への移行など、よく研究して進めていただきたい。 ◎プールの利用者も増えており、プールを利用した新たな事業などを実施し、更なる利用者の増加により町民の健康増進に努めて欲しい。
	コスト	現状維持	